

根堀台

第10号



由利中学校 学校便り
令和元年六月二十日(木)

発行者 校長 佐々木克也

地区総体終了

優勝 柔道47kg ○○○○
準優勝 柔道90kg ○○○○



令和元年度由利本荘・にかほ地区総合体育大会が十五日(土)、十六(日)と雨で順延のソフトボールが十七日(月)、ソフトテニスが十八日(火)に開催されました。

野球部 懸命の応援

東由利中に苦杯

由利中学校でした。昔から、野球の応援は、各学校のまとまりの象徴です。試合は、東由利中に敗れてしまいましたが、チーム由利中で臨んだ応援は、負けていませんでした。応援団と吹奏楽部の懸命の応援は、素晴らしいものでした。幻の三塁打などの時は全員が歓喜にあふれ、同時に落胆しました。それでも、野球部の頑張りと同調しながら、チーム由利中として最後の最後まで応援をしてくれました。

今大会では、団体での全県大会出場権を得ることができました。

今大会では、団体での全県大会出場権を得ることができました。



とができませんでした。三年生の夏は終わり、新たなステージに進まなければならなくなりました。しかし、中学校での部活動で得た経験は、今後の人生の糧として、必ず実を結びます。苦しかった練習や喜びや悔しさを共有した仲間は一生涯の宝物です。部活動を続けることができたのは、保護者、監督・コーチ・地域の皆さんのおかげです。決して感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

今大会では、柔道の○○○○さんが個人戦で優勝しました。○○さんは、

県の強化指定選手にも選ばれています。県大会でも連覇を目指して下さい。同じく柔道男子九十kg級で○○○○さんが準優勝、同階級で○○○○さんが第三位になりました。

また、水泳大会に出場した○○○○さんは、女子自由形百mで三位入賞、二百mで六位入賞し、県大会参加標準記録を突破し、県大会出場切符を手に入れました。○○さんは、どちらも自己新記録でレースを終えています。県大会でも更なる飛躍を期待します。

サッカー大会では、本校サッカー部主将の〇〇さんが、開会式に於いて選手宣誓をしました。とても力強く、立派な宣誓でした。

また、〇〇さんは、試合に負けた後でも、チームを引っ張って、大きな声で、相手チームや保護者に挨拶してくれました。本場に立派なキャプテンでした。

由利地区敬老会

メッセージに
感動の渦

十八日(火)に令和元年度由利本荘市由利地域敬老会が町民体育館で行われました。対象者総数は、九百九十七人で参加者は二百七十八人でした。七十五歳以上の高齢者が由利地区の全体の二十三日%になります。敬老会は、主催者が市長で、各地で行われます。式典の中で、小・中学生の作文朗読があり、中学生代表では、三Aの〇〇〇〇さんがメッセー

ジを読み上げました。以下は〇〇さんの原稿です。



「自慢の祖父母に

伝えたいこと」

三年 〇〇〇〇

私には一緒に住んでいる祖父母がいます。私が学校や部活から帰ってくる時は「夜遅くて心配だから。」と自慢の車から後ろから車で道を照らしながら一緒に家まで帰ってくれます。友だちと自慢の車で帰っている時に車に迎えに来てもらうのは少しはずかしいですが、「優しくて良い家族だね。」と言われるとすごくうれしくなります。車で迎えにこれ

ない時も、家の前でずっと待つてくれています。毎日「おかえり。」と言つて迎えてくれるので、一人で帰つても全くさびしく感じません。優しく自慢の祖父母です。

祖父母は、毎日畑仕事や田んぼで忙しく働いています。「腰が痛い。腰が痛い。」と言いつつ毎年作つてくれるお米や野菜を食べられるのは毎日頑張つてくれる祖父母のお陰だし、手作りのお米や野菜を食べられるのは当たり前前の事ではないんだなと思います。祖父母には感謝の気持ちでいっぱいです。

祖父母は、お互いに自分の考えをハッキリと相手に言うので、喧嘩もありません。でも、思っていることを相手にしっかり伝えられるのは良いことだと思うし、お互いが信頼しているからこそできるのかなと思います。でも、祖母が祖父の体の痛いところをマッサージしてあげているのを見ると、やっぱり仲良しなんだなあと思います。

私の祖母は、朝起きたときは「おはよう」、寝る前は「おやすみ」と言い毎日わざわざ私の部屋まで来てくれます。私は、家族に対して「おはよう」や「おやすみ」というのは恥ずかしい感じがして自分からはなかなか言えませんが、祖母は少しケンカをしてしまった日でも「おやすみ」と言いに来てくれます。挨拶するのは当たり前かもしれませんが、家族内ではあまりしないという人は少なくないと思います。でも、毎日声をかけてくれる祖母のお陰で私は明るく生活できているのだと思います。

私が何か悩んでいる時は話を聞いてくれたり、勉強が大変で焦っている時は、「大丈夫、頑張れ!」、「〇〇ならできる」と言うてくれる祖父母にすごく助けられてきました。これから先、口げんかになつてひどいことを言うかもしれないけど、本当は凄く感謝しているし自慢の祖父母です。

これからも、元気で健康で仲の良い二人でいてほしいです。

校長の独り言

後、十五年生きれば、後期高齢者の仲間入りです。生きていられる心配です。 — 続く —